



しまね 建築・住宅 コンクール

令和6年度

Architecture & Houses
Competition in Shimane

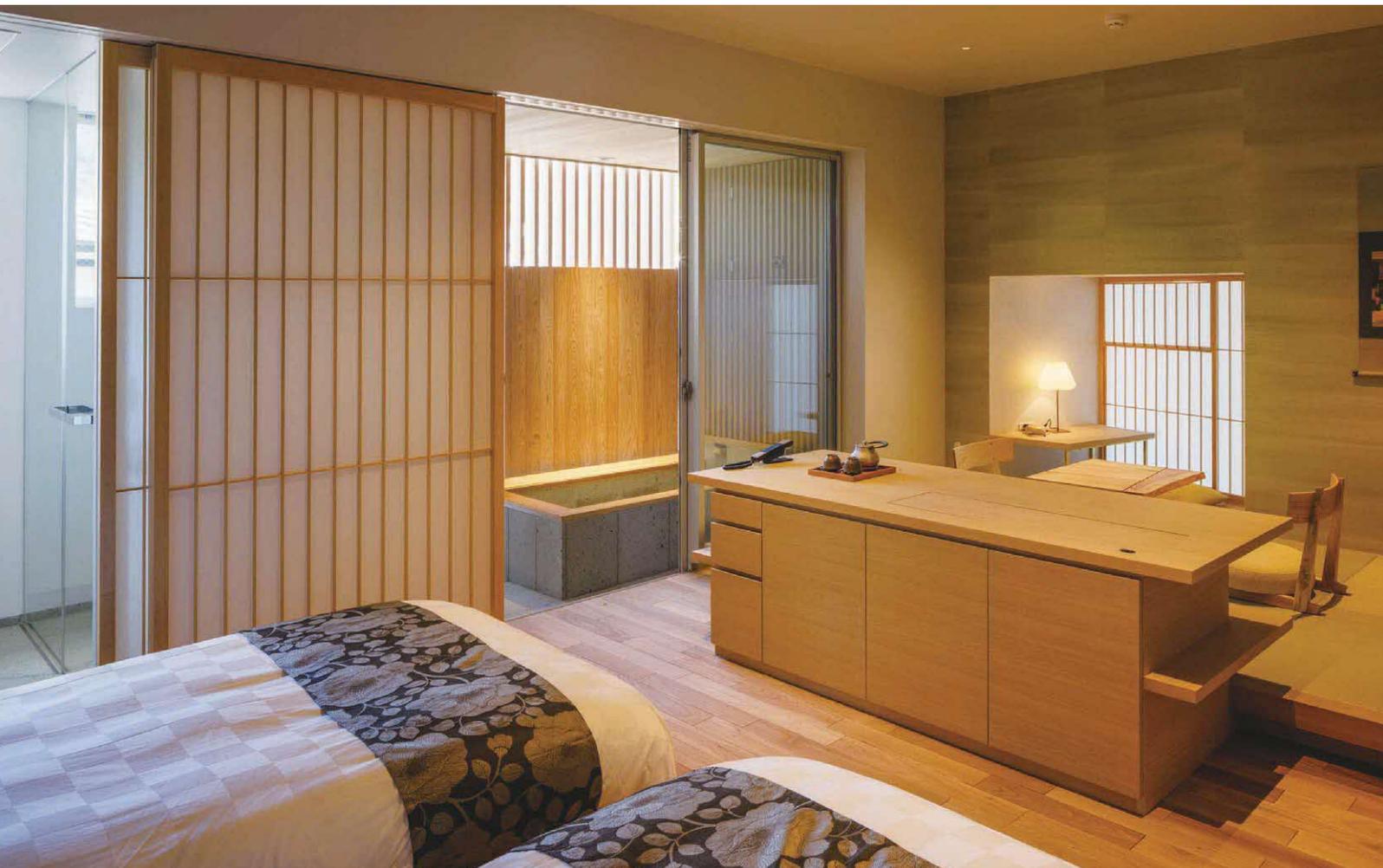


島根県



しまねの暮らし・住まい方

— 新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して —





ごあいさつ

島根県知事 丸山 達也

島根県は、全国の他の地域よりも早く人口減少、少子高齢化という課題に直面しており、長年この課題に向き合ってきました。その中でも、子育てに必要な環境づくりや地域コミュニティの維持は、住宅・建築の分野にも関わる重要な課題であります。

一方、人々のライフスタイルの変化、バリアフリー化・省エネルギー化といった性能の向上、デジタル化等の産業技術の導入など、建築物に対する県民の皆さまのニーズは多岐に渡っております。

県では、様々な課題やニーズに対応した住宅・建築物の整備、活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く県民の皆様に紹介することを目的に、平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施しています。

今年度は、「しまねの暮らし・住まい方」をテーマに募集をし、建築物部門及び活動部門をあわせて82件の応募をいただき、審査委員会においてこれらの応募作品・活動に対する厳正な審査を行った結果、最優秀賞の「障害福祉施設のありかた/Sakura Campus」をはじめとする、16件の受賞作品・活動を選定いたしました。

受賞された皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、今回受賞には至らなかったものの、魅力的な作品を応募いただきました皆様、審査を行っていただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

県では引き続き、住み続けられる豊かな住まい・住環境の実現に向け、取組を進めて参ります。

県民の皆様におかれましても、一層の御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます、御挨拶といたします。

令和7年3月

選考総評

審査委員長 細田 智久

令和6年度のしまね建築・住宅コンクールは、昨年度同様に「しまねの暮らし・住まい方－新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して－」をテーマとし、建築物部門と活動部門の募集を行い、82件の応募がありました。2015年以降では最も多い応募があり、例年以上に多彩な作品や活動に対する審査となりました。

第一次審査では、応募書類により、二次審査への通過作品を各部門あわせて31件選出し、第二次審査では全ての作品において現地審査を行った上で、審査委員会により、表彰候補16件を選定し、その中から最優秀賞1件、優秀賞5件、奨励賞10件を決定しました。

最優秀賞に選定した「障害福祉施設のありかた/Sakura Campus」は、安来市内の障がい者福祉施設です。パン製造・販売を併設した施設ですが、一見すると田園風景の眺望を活かした素敵なカフェにしか見えませんが、その細部には、車椅子利用を想定した余裕あるテーブル配置、調理・接客にあたっている障がい者や指導者の方々の動き、それらを理解された来訪者の方々の心遣い、木質材料・間接照明や角が面取りされた塗り壁などによる温かな内装、各所に障がい者の方と来訪者の方々が時間と空間を共有するための丁寧な配慮が感じられます。来訪者の方々の日常の慌ただしさや生活感を考え直す時間が持てる学びの場にもなるキャンパスです。

優秀賞には、建築物部門から「和オーベルジュ神等楽来」「奥谷町の町家」「Houhill」と、活動部門から「SLOW HOUSE@okuizumo」リノベーションプロジェクト」「Katta House」の計5件を選定しました。これら優秀賞は、優れた建築デザインと共に、改修・DIYの手法による再生、地域材の活用、子育て環境整備、都市部や海外からの来訪者へのおもてなし、利用者や家族に向けた優れた創意工夫を高く評価しました。

奨励賞には、建築物部門から「新屋敷」「史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 越堂たたら跡ガイダンス施設」「いちえ内科・呼吸器クリニック」「L_HUT ～環境と調和するL型の小屋～」「美又共存同栄ハウス」「NHK松江放送会館」と、活動部門から「歴史を生かし未来をつなぐ ～バリアフリー古民家カフェと音楽交流の新しい形～」「西郷港周辺まちづくり「うみやまもっとあつまれ」「家具再生大作戦！」（海士町役場の家具づくりワークショップ）」「断熱で、島の未来を支えよう！（既存住宅・断熱化促進への取り組み）」の計10件を選定しました。

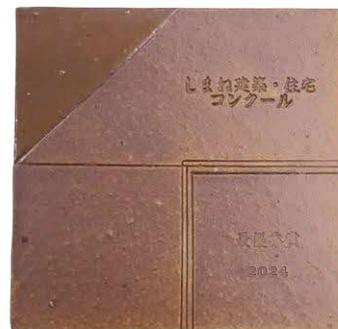
受賞された建築物や活動が今後のしまねの心温まる暮らしを支えるモデルとなることを期待しています。

令和7年3月

募集
テーマ

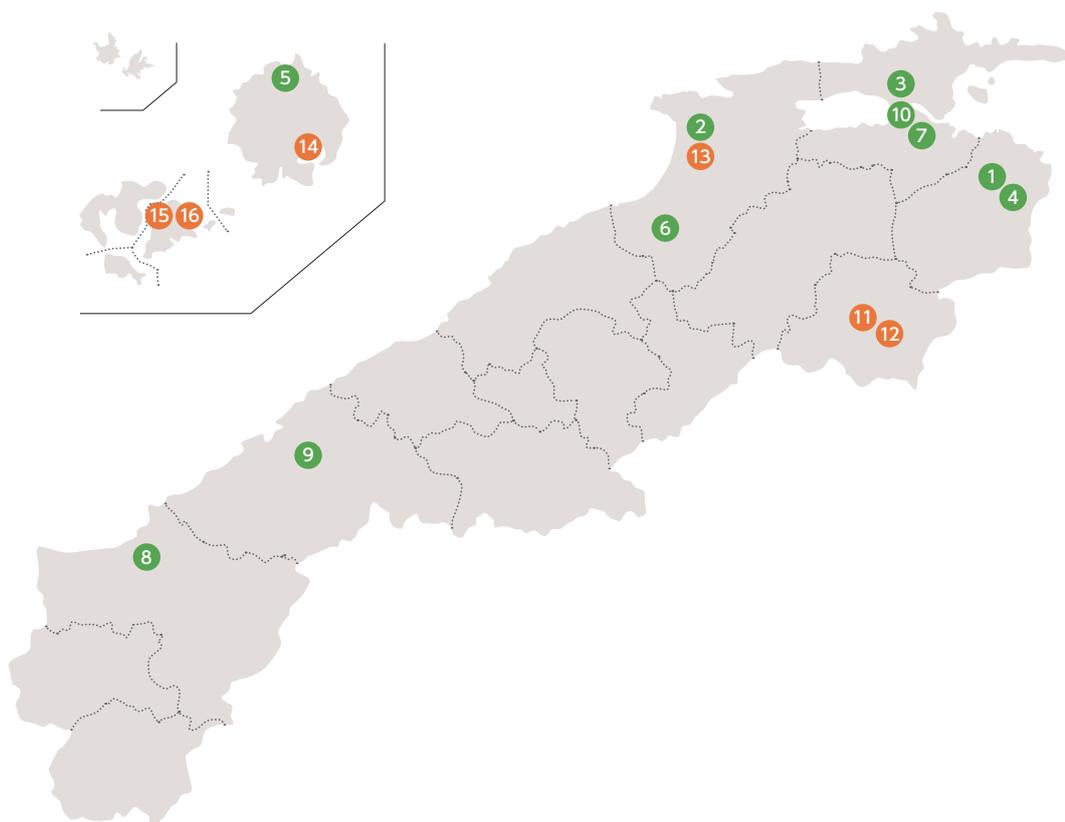
しまねの暮らし・住まい方

— 新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して —



表彰銘板(石州敷瓦)

受賞
物件



【建築物部門】

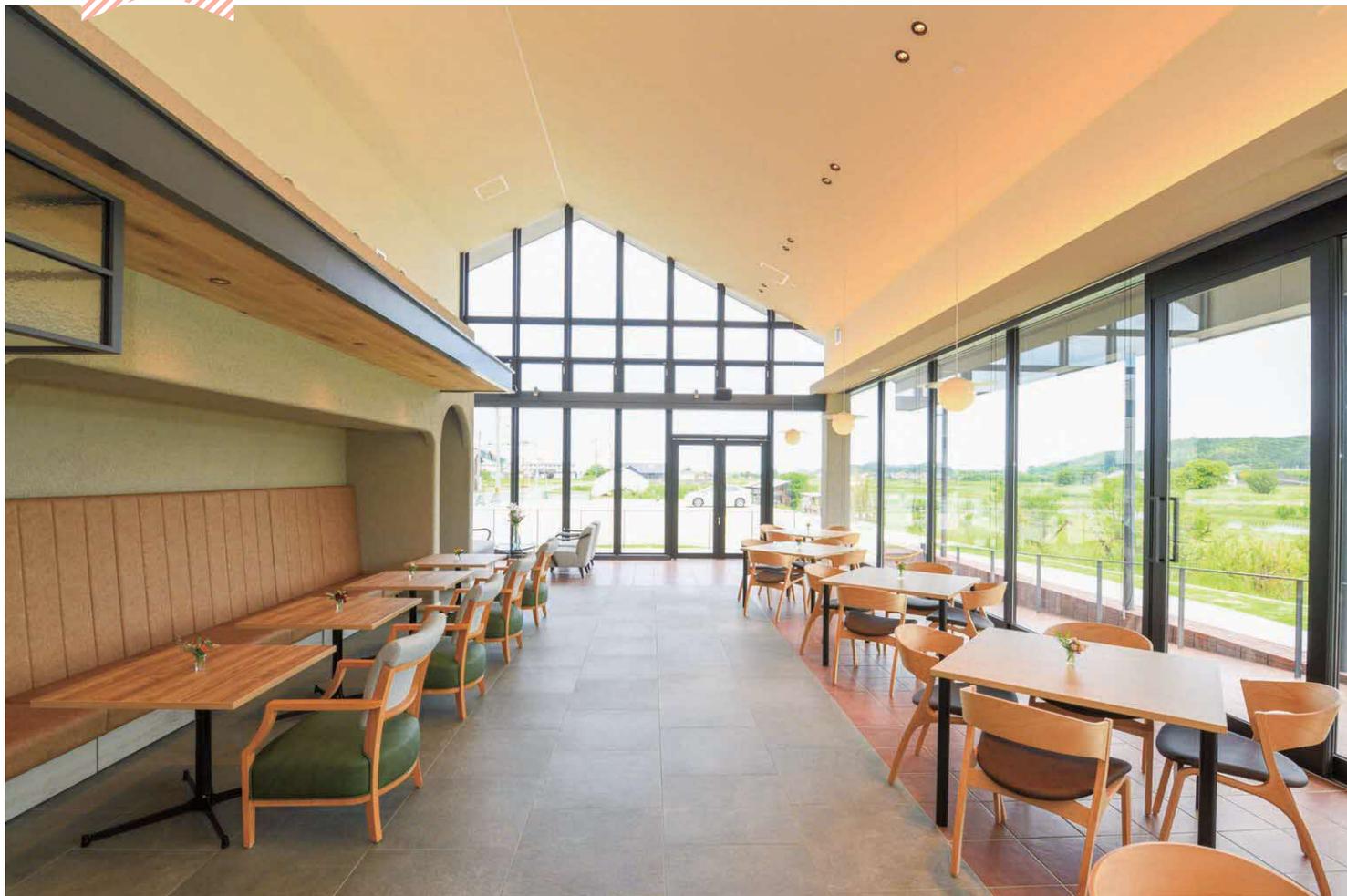
- 1 障害福祉施設のありかた／
Sakura Campus
安来市
- 2 和オーベルジュ神等楽来
出雲市
- 3 奥谷町の町家
松江市
- 4 Houhill
安来市
- 5 新屋敷
隠岐郡隠岐の島町
- 6 史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡
越堂たたら跡ガイダンス施設
出雲市
- 7 いちえ内科・呼吸器クリニック
松江市
- 8 L_HUT
～環境と調和するL型の小屋～
益田市
- 9 美又共存同栄ハウス
浜田市
- 10 NHK松江放送会館
松江市

【活動部門】

- 11 「SLOW HOUSE@okuizumo」
リノベーションプロジェクト
仁多郡奥出雲町
- 12 Katta House
仁多郡奥出雲町
- 13 歴史を生かし未来をつなぐ
～バリアフリー古民家カフェと音楽交流の新しい形～
出雲市
- 14 西郷港周辺まちづくり
「うみやまもっとあつまれ」
隠岐郡隠岐の島町
- 15 「家具再生大作戦！」
(海士町役場の家具づくりワークショップ)
隠岐郡海士町
- 16 断熱で、島の未来を支えよう！
(既存住宅・断熱化促進への取り組み)
隠岐郡海士町

建築物部門
最優秀賞

障がい者施設のイメージを一新し、来訪者も共に学び合えるキャンパス
障害福祉施設のありかた / Sakura Campus





この建物は安来市の田園地域を横断する主要道路沿いに計画された、障がい者の方がパンを製造・販売し、カフェテリアのスタッフとしても活動される施設です。切妻屋根・平屋建ての建物は、道路沿いやパン製造部分は除雪作業や周辺景観に配慮されたグレーの鋼板で仕上げられ、飯梨川の土手に面するカフェテリアはガラス窓で開放的に作られています。車椅子利用者にも配慮された緩やかなスロープを上り、エントランスに入るとパン販売エリアがあり、大型の引き戸を開けるとカフェテリアに至ります。カフェテリアは高い天井、木製の飾り棚、面取りされ落ち着いた塗り壁、間接照明など、注意深くも優しくデザインされており、大きな開口部からは山並み、田園風景を眺めることができます。車椅子の利用も考えられた余裕のあるテーブル配置となっており、障がい者の方が指導者の方に見守られながら接客を行っていただけます。

普段、慌ただしい毎日を過ごしがちな私たちですが、ここではその速度を少し落として、障がい者の方たちに寄り添う気持ちが私たち自身から溢れ出てきます。障がい者の方たちの学びの場であると共に、訪れた私たちも大きな学びが得られる素晴らしいキャンパスです。

(細田智久)

- ▶ 建築主
社会福祉法人 真和會

- ▶ 設計者
株式会社 ROUNDARCH 一級建築士事務所

- ▶ 施工者
平井建設 株式会社



- 建物概要**
- 所在地 / 安来市
 - 用途 / 児童福祉施設
 - 構造 / 鉄骨造
 - 工事種別 / 新築

建築物部門
優秀賞

和オーベルジュ神等楽来

ご縁を紡いでいくオーベルジュ



この建物は、出雲大社の正門前から続く神門通りの中ほどにある、大きな籠のような曲木の格子に覆われたホテルです。

ホテルのコンセプトは「縁（出会い）」とのことで、各所に県内工芸による仕上、ご縁に関する工夫がなされていました。

館内レストランは壁天井共に和紙仕上としてあり、1階客席の天井には石州和紙で作られた八雲があしらわれており、柔らかな光の反射に包まれた優しい空間がつけられていました。レストラン床には石州瓦の床タイルや客室には桧と福光石の半露天風呂、館内各所に組子細工がデザインされており、家具も特注で作られています。建物そのものが県内工芸品の作品となっており、どこを見ても楽しく美しい空間となっています。

この建物の計画からオープンまで、オーナーの思いと工事関係者や多くの県内工芸の方々とのつながりや努力、協力が必要だったことが深く感じられ、今後も来館者との多くの「ご縁」をつなげていくことと感じました。

(金森菜津子)

▶ 建築主
有限会社 草谷

▶ 設計者
MAMM DESIGN 一級建築士事務所

▶ 施工者
株式会社 トガノ建設



建物概要
●所在地/出雲市
●用途/宿泊施設
●構造/鉄骨造
●工事種別/新築

建築物部門
優秀賞

奥谷町の町家

通学路を通る高校生に建築の魅力を感じてもらえる
新たな町家のモデル



この建物は松江市内にあり、前面道路と高校への小街路沿いに挟まれた敷地に新築された2階建て切妻平入りの木造住宅です。西側の玄関まわりの開口部と東側のキッチンの開口部は、丘の上の高校の下校時にちょうど視線が抜けるように計画されており、高校生たちの目印、冬場の下校時の防犯照明にも役立っていることが想像できます。

1階床は全面が土間仕上げになっており、屋外と緩やかにつながっています。矩形の平面計画は3つの区画にゾーニングされ、中央の区画は吹抜け、ハイサイドライトと木製梁に彩られた開放的な空間となっています。南北方向は鋼板仕上げのしっかりとした壁となっており、中央区画のハイサイドライトは隣地建物とのプライバシーにも配慮された位置に計画され、時間や季節に応じてロールスクリーンで日差しがコントロールできるようになっています。2階の2区画は吹抜けに浮かぶブリッジでつながれており、小規模な住宅ですが、開放感と家族のつながりが豊かに広がる魅力的な空間となっています。街を行き交う児童生徒の動き、季節毎の太陽の動きの変化を感じながら生活でき、ご家族が楽しみながら笑顔で生活されている様子が印象的な住宅です。

(細田智久)

▶ 建築主
個人

▶ 設計者
一級建築士事務所 studio.美南

▶ 施工者
円建創 株式会社



建物概要
●所在地 / 松江市
●用途 / 住宅
●構造 / 木造
●工事種別 / 新築

建築物部門
優秀賞

大型民家の再生モデルとなる田園の風景や食材を楽しむショールーム

Houhill



この建物は鳥根と東京を拠点に木質系建材の開発販売を手掛ける会社のショールームとして、安来市内の田園地帯を見下ろす小高い丘の上にある2階建て石州瓦屋根の大型民家を大規模に改修されたものです。東京にショールームを設けるのではなく、あえて鳥根の民家を活用し、能義平野と大山の景観、山陰の味覚を味わってもらいながら、建築関係者との打合せや学生たちとの交流の場として再生されています。

増改築を重ねられた大型民家に対し、柱通りを整理し直し、耐震補強も行われています。1階玄関部の土間ホールは大型ガラス戸と薪ストーブがあり、横長の大きなテーブルとキッチンが設けられ、大人数のゲストや社員との交流が生まれる空間とされています。土間ホールを中心に、南側にはゲストルーム、北側にはギャラリー廊下とサウナ、2階には大山を眺められる小屋裏の多目的スペースと事務所が配置されています。室内各所で会社が取扱うフローリングが貼り分けられ、縁側デッキや浴室の床材には、外国産材の利用方法や耐久性の高さを実際に見ることができます。大型民家の新たな活用・改修方法が示され、国内外の木材の特徴を知ることができる素晴らしいショールームです。

(細田智久)

▶ 建築主
アトムカンパニー 株式会社

▶ 設計者
SHIP ARCHITECTS (意匠)
加藤構造計画事務所 (構造)
soso (構造)

▶ 現地調査協力
東京都市大学 落合研究室

▶ 施工者
伊藤木材工業 株式会社



●所在地/安来市 ●用途/住宅兼事務所
●構造/木造 ●工事種別/改修

建築物部門
奨励賞

隠岐の風と自然を感じる百年古民家オーベルジュ

新屋敷



この建物は、築100年を超えた赤瓦の屋根を持つ大型で平屋の一軒家をIターンしたオーナーご夫婦が譲り受け、DIYも行いながらフルリノベーションし、一棟貸しのオーベルジュ（レストラン付き宿泊施設）として再生されています。

3,000㎡の広い敷地には、島の石を活用した石積みのファイヤーピットや石垣があり、眼下に広がる日本海の波の音を楽しむこともでき、隠岐の風と自然を堪能できる空間となっています。

玄関に入るとその奥には尺角の大きな大黒柱があり、その隣の土間スペースにある食堂では、島の旬彩をあしらった料理を目の前でシェフが調理してくれます。土間キッチンでは古民家の小屋組が露わにされており、高さのあるカウンターテーブル、桐箆笥の引き出しを再利用した飾り棚と合わせ、新旧の木材の色合いが楽しめます。内部の壁は、オーナー夫婦が自ら塗った珪藻土の大壁があり、建物により味わいを醸し出しています。間仕切りは取り払われ、広縁も客間などつなげられ、広い庭や蔵を眺めてゆったりと過ごすことができるよう工夫されています。

隠岐産材の杉板を用いて新たに貼り直したりビングの床や、建設当初からある大きな梁や柱など、随所に古民家らしさを残した奥深さを感じることができ、また隠岐の広大な自然にも触れることが出来る建物になっています。

(持田 明)

▶ 建築主
個人

▶ 設計者
有限会社 富田建築



建物概要
●所在地／隠岐郡隠岐の島町
●用途／宿泊施設
●構造／木造
●工事種別／改修



成長していく錆と遺跡

史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡

越堂たたら跡ガイダンス施設



山間の9号線沿に立つ錆び鉄の看板を入ると、奥にはコールテン鋼の小さな展示施設が目を引きました。少し離れたところにたたら跡、高殿跡、ふいご・炉のレプリカ等が屋外展示してあります。

コールテン鋼の外壁で仕上げられた展示場は全体に綺麗に錆が出ており、各所の錆び鉄の看板と統一感のある計画となっています。屋根は高殿のような寄棟屋根。内部壁は珪藻土で土壁のような風合いが、敷地内全体でたたら製鉄所を感じさせる造りになっていました。屋外の展示物とゆるやかにつながり、小さな建物でありながら製鉄の過程や歴史などの資料が分かりやすく、また回遊しやすいように展示されています。

地域住民や学識経験者、国、県、市などで構成された整備検討委員会で展示表現や管理方法などの協議を重ねられ、委員会の要望を反映させながら整備されています。引き続き調査研究が進み、たたら文化を知る施設として充実していくことを期待しています。

(金森菜津子)

▶ 建築主
出雲市役所 文化財課

▶ 設計者
株式会社 寺本建築都市研究所

▶ 施工者
浜村木材 有限会社



建物概要
●所在地/出雲市
●用途/展示施設
●構造/木造
●工事種別/新築

建築物部門
奨励賞

やわらかな明かりのクリニック

いちえ内科・呼吸器クリニック



幹線道路沿いの広い敷地に大きくセットバックして計画された建物は、喧騒から少し離れた空間で落ち着いた雰囲気のある病院で、建物周囲には植栽やライトアップを設けることで周囲の景観に配慮されていました。

待合室には来院患者の不安を和らげるよう、木材を多く使った仕上で暖かな雰囲気を作られています。南側に大きなガラス窓とカウンター席が設けられており、打ち放しの扉に囲まれた内庭を眺められるような、診察を待つ時間を快適に過ごす工夫がされていました。

処置室は清潔感を感じさせる白で統一されており、スタッフが回遊しやすい動線が計画されており、スタッフの声を計画に落とし込まれたとのことです。コロナ禍での計画だったので、感染症専用の待合もあり、動線を分けながらもスムーズに処置できる工夫がされていました。建物利用者にも地域にも寄り添った病院になっていると感じました。

(金森菜津子)

▶ 建築主
いちえ内科・呼吸器クリニック

▶ 設計者
株式会社 山根一史建築設計事務所

▶ 施工者
幸陽建設 株式会社



建物概要
●所在地/松江市
●用途/診療所
●構造/木造
●工事種別/新築

建築物部門
奨励賞

L型で繋がる豊かな暮らし
L_HUT
環境と調和するL型の小屋



この建物は、益田市の区画整理事業により形成された新興住宅地にあります。周辺には農地が残ってはいるものの個人住宅や集合住宅、診療所や福祉施設などが建ち並びます。

L_Hutと名付けられたこの家は、住居空間と土間空間がL型に配置され、中庭を介して対面にある親世帯の家と互いに往来できるよう計画されています。

住居空間は高断熱性のサッシとし、キッチン是不锈钢製トップカウンターで無機質にまとめ、一方の土間空間は石張りの床、壁は合板と木製サッシで構成されており有機的な印象です。この二つの空間は対照的な素材で仕上げられていますが、それぞれの空間において、中庭に面して大きく開口部を設けることで中庭が緩衝帯となり、不思議な調和を生み出しています。

住居は快適に暮らしていくために必要なLDK、主寝室、水廻りの最小限の空間をワンルームで構成し至ってシンプルです。片流れの屋根勾配がそのまま表れた住居の天井は、ハイサイドライトから取り込まれる光で印象的な陰影が浮かびます。新興住宅地でありながらもおおらかで豊かな暮らしが広がっていました。

(福原昌代)

▶ 建築主
個人

▶ 設計者
株式会社 白子秀隆建築設計事務所

▶ 施工者
岩見建設 有限会社



建物概要
●所在地/益田市
●用途/住宅
●構造/木造
●工事種別/新築

建築物部門
奨励賞

一人の残したいという想いからコトがはじまる 美又共存同栄ハウス



思い出のある建物が失われようとした時、一人の残したいという想いが仲間を動かし、建物に新たな命が吹込まれ、生まれ変わりました。

案内してくださったのは、鳥根県立大学准教授 田中輝美さん。築87年の木造2階建てで「農協さん」と呼ばれ親しまれた建物とその役割を終え、空き家状態であることを知った田中さんが、幼少期の思い出が残る建物と風景を残したいと、運営に携わる「日本ジャーナリスト教育センター（JCEJ）」の仲間に相談したコトから始まりました。

外部はアルミサッシを木製建具に改修する程度に抑え、石州瓦の屋根と淡緑色の板張りの外観はそのままに。内部1階は寝台列車を模した宿泊施設やキッチン、多目的なイベントに対応できる広場として改修し、2階には折上格天井が印象的な講堂があり当時の雰囲気を残したまま修繕されました。近隣の美又温泉を利用してもらいたいと施設内の入浴はシャワーのみ。訪れた人を町へ誘うように計画されています。

建物正面のシンボル「共存同栄」とは互いに助け合い、共に豊かになろうという農協時代からの理念です。改修費用の一部をクラウドファンディングで集め、全国各地のローカルメディアを繋ぐ交流拠点としての活用は、新たな共存同栄のあり方のように感じました。
(福原昌代)

▶ 建築主
日本ジャーナリスト教育センター

▶ 設計者
和田デザイン事務所

▶ 施工者
株式会社 建匠

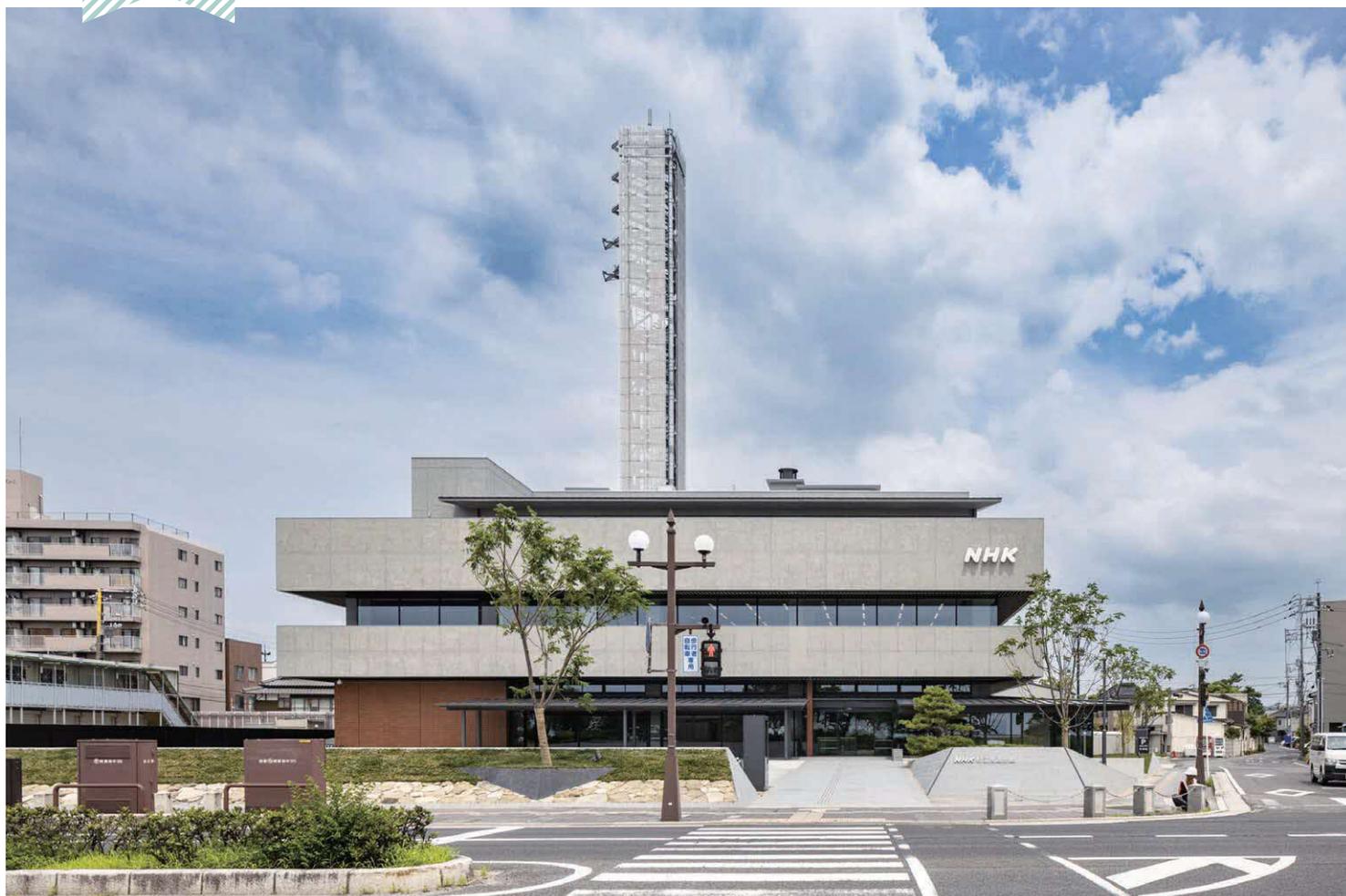


建物概要
●所在地／浜田市
●用途／複合施設
●構造／木造
●工事種別／改修

建築物部門
奨励賞

宍道湖の夕日に染まる会館

NHK松江放送会館



この建物は、宍道湖東岸の景観に配慮し、また建物内部から宍道湖への眺望にも配慮した建物として計画されています。

外観は、県庁舎群と同じくコンクリート打ち放し仕上げとなっており、宍道湖に沈む夕日に染まることで、より一層美しさを際立たせます。正面玄関の底には、県産木材で制作したルーバーを設置し建物内部まで連続させ、またエントランスホール（ハートプラザ）のガラス大型引き戸を開放することにより、建物内部と外部広場を一体としたイベント利用が出来るよう工夫されています。

1階のハートプラザや食堂は一般公開エリアとなっており、3階の展望テラスからの眺望も楽しめるよう地域利用にも配慮した建物となっています。また3階建物内部からの眺望も、展望テラスの床面を一段下げ、腰壁とテラスの手すりの高さを合わせることで、宍道湖の湖面が良く見えるよう工夫されています。

全国に拠点を持つ放送施設であるため、会館職員が迅速に業務を行えるよう共通の仕様を持たせながら、建物が長く利用できるよう機器の更新性や、地域開放にも配慮された設計となっており、市民に長く親しまれる建物になるでしょう。
(持田 明)

▶ 建築主
日本放送協会

▶ 設計者
株式会社 山下設計

▶ 施工者
株式会社 竹中工務店 広島支店

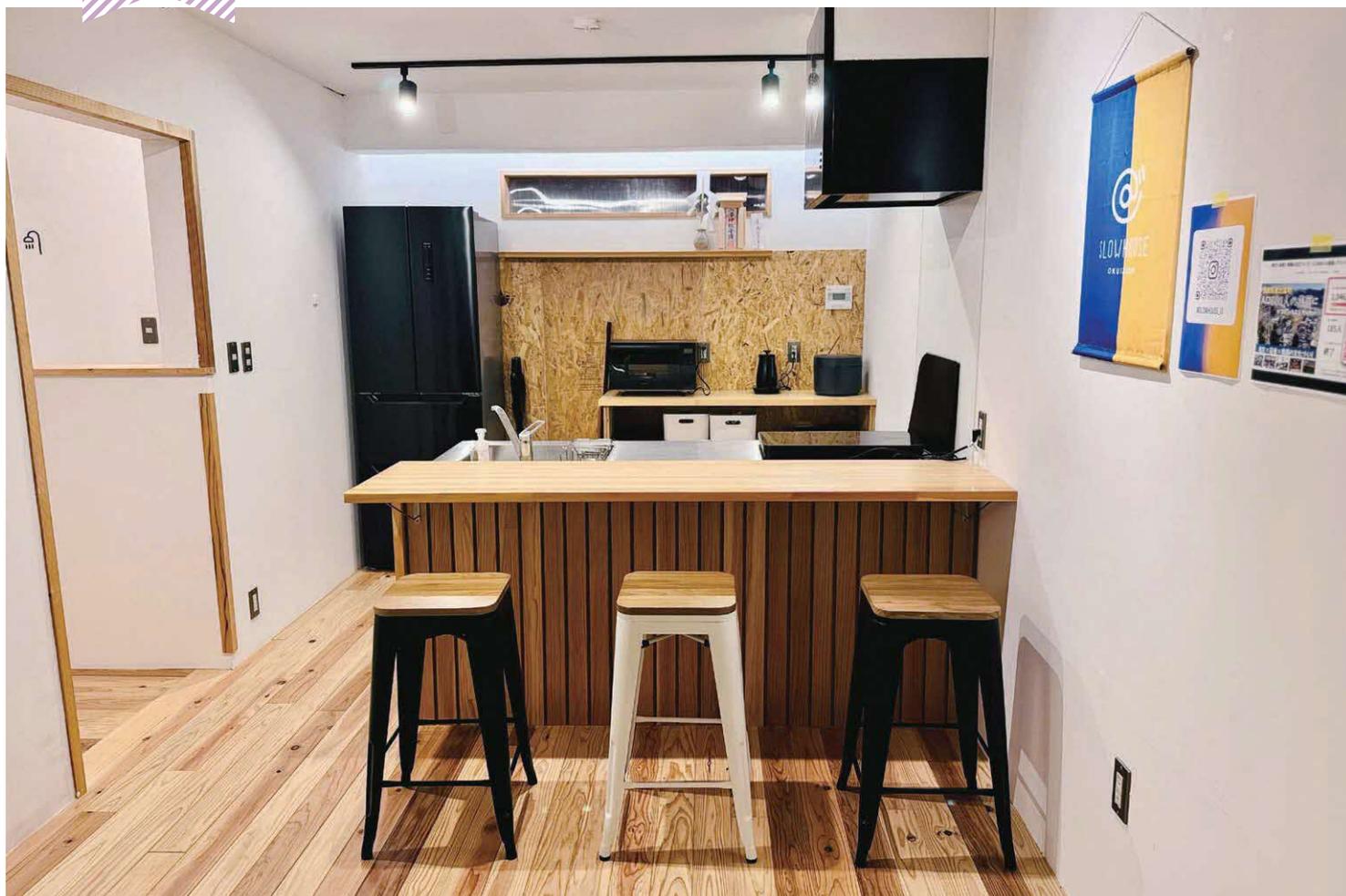


建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 事務所兼テレビスタジオ
- 構造 / 鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 新築

活動部門
優秀賞

空き家再生が続く奥出雲町三沢地区での地域おこし協力隊員の気迫溢れる挑戦 「SLOW HOUSE@okuizumo」 リノベーションプロジェクト



この活動は奥出雲町三沢地区の空き家を、地域おこし協力隊として東京都から来られた方が地域の方々とのDIYにより、1年をかけてリノベーションを行い、宿泊施設とされたものです。リノベーションでは、壁塗り、フローリング床の施工などの多くがDIYで実施され、水廻りの設備もインターネット通販で購入して自分たちで取付けされています。現在は1階部分が活用されていますが、今後は2階部分のリノベーションも計画されています。

費用はクラウドファンディングでも集められ、リノベーション作業には全国から150名以上の方々にも参加してもらい、こうした活動を通じて、奥出雲町及び三沢地区の関係人口を多数獲得されています。個室タイプ・ドミトリタイプ of 宿泊室が設けられ、外国人宿泊者などが気軽に宿泊でき、奥出雲町地域を散策し地域住民と交流するための拠点となっています。三沢地区には町所有のサテライトオフィスがあり、周辺では移動販売や不動産を営む方々が空き店舗や空き家を再生されており、本活動もこれらのつながりの中にあり、こうした一連の活動によって地域に賑わいが戻ってきていることが感じられます。

(細田智久)

▶ 活動実施者
SLOW HOUSE@okuizumo

▶ 主な活動場所
仁多郡奥出雲町



活動部門
優秀賞

ママ友3人で生み出したサードプレイス

Katta House



この建物は、奥出雲町横田にあり、横田幼稚園や横田小学校から1km程度と比較的近いところに立地しており、UIターンで転入してこられたママ友3人が共同で設置したサードプレイスです。空き家になっていた古民家を将来の取得も視野に入れながら借り受け、子どもたちも利用しやすいよう、改修も計画されており、残置物の片付けなどは、地域の人たち、特に地元高校生の協力も得ながら実施されました。

日中は幼稚園の子どもやその保護者向けに開放しており、建物周辺は町なかとはいえ自然豊かな場所に立地していることから、子供たちを伸び伸びと遊ばせ、保護者の方々も安心して相互の交流ができる場所としての役割も果たすだろうと感じられます。

また、地域のさまざまな年齢層の方々に関与した各種イベントの企画により、開放的なサードプレイスの立上げにハードソフトの両面から貢献した活動だと思えます。

このような活動は、奥出雲町のまちづくりへの貢献だけでなく、地域における古民家活用のモデルケースになっていくと思えます。今後も活動が継続し、広がっていくことを応援したいと思えるプロジェクトです。

(坂本拓三)

▶ 活動実施者
Katta House 運営メンバー

▶ 主な活動場所
仁多郡奥出雲町



活動部門
奨励賞

受け継いだ民家と庭を活用した地域の文化交流が生まれる場

歴史を生かし未来をつなぐ

～バリアフリー古民家カフェと音楽交流の新しい形～



この建物は、出雲大社のお膝元にある古民家を再生し、地域交流の拠点となるようさまざまな活動を実施されており、カフェとしてだけでなく、ライブ会場としても活用されています。伝統的な風情を残しながらも、地域の高齢者や障がい者が安心して訪れることができるよう、バリアフリー化を前提とした現代の生活様式や利用形態に合わせた改修をされています。また、枯山水と松との調和の取れた雲州流の庭園もきれいに管理されており、オーナーご夫婦の建物・庭に対する歴史的な知見と思い入れを感じます。

また、各室は地域への開放やレンタルスペースとしても活用され、音楽イベントや婚礼の支度部屋、写真の前撮りなど、地域の交流が生まれる場所になっています。風情あるこの場所は、利用された方々をノスタルジックな気持ちにさせてくれたのではないのでしょうか。

最近、インバウンド観光等で脚光を浴びている出雲大社ですので、このような貴重な地域資産である古民家の活用は、これから増えていくことでしょう。壊されてゆく古民家が増加しているなか、モデル的な再整備を実施された活動に敬意を表したいと思います。

(坂本拓三)

▶ 活動実施者
古民家カフェ駕籠石庵

▶ 主な活動場所
出雲市



西郷港のまちづくりを考え話し合える拠点づくり

西郷港周辺まちづくり

「うみやまもっとあつまれ」



この活動は、「西郷港周辺まちづくり」プロジェクトの一つである「世代をつなぐまちづくり」の仮拠点として、令和6年7月に整備されました。活動の名称でもある「うみやまもっとあつまれ」は、海からも山からも、たくさんの人が集まる拠点になって欲しいとの願いを込めて、島内の中学生の話し合いにより決まりました。

拠点となっている建物は、数年前までは店舗として使用されていましたが、空き家となり、町のサテライトオフィスとして活用されてきたものを、町の若者から高齢者までの多様な世代の方々が集える場所として整備が進められています。

入口にあるサイン看板は、町の木材店から提供していただいた木材を活用し、高校生により作成されています。高校生が企画したイベントには、小中学生や養護学校の生徒などが参加しています。周辺には整備検討用の街灯デザイン mockery (原寸模型) が設置されたミニ公園もあります。この場所を拠点に将来の整備計画の見える化とさまざまな活動を通して町の一体感や人々との絆を強固なものとし、これからの西郷港周辺の賑わいに繋がっていくことを期待します。

(持田 明)

▶ 活動実施者
隠岐の島町役場 都市計画課

▶ 主な活動場所
隠岐郡隠岐の島町



活動部門
奨励賞

島の人々で作ったリメイク家具が入る新庁舎づくり

「家具再生大作戦！」

(海士町役場の家具づくりワークショップ)



この活動は、50年ぶりに新しく生まれ変わる海士町役場庁舎で利用する家具を制作するためにワークショップを開催し、地域住民と共に実施したプロジェクトです。

「ないものはない（都会のような便利さはないけれど、大切なものはすべてここにある）」をスローガンに、古い家具や海岸への漂着物、牡蠣の殻などを再利用し、小学生を含む島民と家具職人がタッグを組んでワークショップが開催されました。再生家具（リメイク家具）は、来庁者用の椅子、職員用デスクや棚など多数あり、庁舎を訪れば必ず目にすることができます。新規購入されたものよりも味わいのある逸品になっています。

これらの家具づくりを始める前には、資材として活用する漂着物や使われなくなった廃材の再利用について話し合うことで、環境に関する問題についても考えるきっかけになっています。

地域住民が自分たちで制作した家具が、新しい庁舎に置かれ、来庁者に利用されることで、人が集まり、交流や出会いが生まれるような場になることを期待します。

(持田 明)

▶活動実施者
海士町長 大江和彦

▶主な活動場所
隠岐郡海士町



活動部門
奨励賞

誰でも手軽に住宅の暖かさを保つ方法をマニュアル化

断熱で、島の未来を支えよう!

(既存住宅・断熱化促進への取り組み)



この活動は、子どもの島留学を機に来島された提案者が、断熱に詳しい建築家を講師に招き、「断熱が島の未来を支える」を開催し、既存住宅の断熱DIYに取り組んだプロジェクトです。

講演会の様子を町内テレビで繰り返し放送し、断熱DIYの方法や断熱の効果についてもSNSを通じて発信することで、地域住民への啓発だけでなく、町外へもこの活動を通じて海士町の魅力を知ってもらおうきっかけにもなっているのではないのでしょうか。また今年度から、町内の建物の更なる断熱化の促進を目的に、町が「断熱DIY促進支援事業」を創設され、断熱材購入費を補助することで、継続的なプロジェクトとして取り組んでおられます。

モデルルームとして旧保育園の園舎を利用したコミュニティ施設において、地元の大工さんの指導を受けながら、ポリカーボネート材等を利用した簡易な木製の内窓や断熱効果のある障子、畳を制作されています。この効果を実際に体感することで、断熱の理解を深めることができ、また、自分たちで施工することによって、建物に対する愛着もより一層強くなり、また新しい活動に繋がっていくのだと感じました。

▶ 活動実施者
海士町長 大江和彦

▶ 主な活動場所
隠岐郡海士町



(持田 明)

募集要項・審査経過・審査委員

募集
テーマ

募集
要件

審査
経過

審査
委員

しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—

1. 島根県内において令和6年9月20日までに整備又は実施されたものであって、下記に該当するものです。
2. 応募は自薦・他薦を問いません。個人・団体・企業、自治体等どなたでも可能です。
3. 応募の部門は、**建築物部門** **活動部門** の2種類があります。

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）、修繕、又は模様替えされた建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即した、以下のいずれかに該当するもの

- ① 建築主、利用者などに配慮したもの
- ② 地域特性を活かしたもの
- ③ 既存建築物を活用したもの
- ④ 環境に配慮したもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取組や活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- ① 地域特性を活かしたもの
- ② 地域住民への意識啓発に効果的なもの
- ③ 住民や地域に貢献しているもの
- ④ 積極的、継続的に取り組まれているもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

募集結果 募集期間 ● 令和6年7月1日～9月20日
 応募総数 ● 82件

審査経過 第1次審査 ● 書類審査により第2次審査の対象を選定（活動部門は全て第2次審査へ）
 審査期間 ● 令和6年9月27日～10月9日
 選出件数 ● 31件

第2次審査 ● 現地審査の上、審査委員会により表彰候補を選定
 現地審査 ● 令和6年11月6日～11月29日
 最終審査会 ● 令和6年12月16日
 選出件数 ● 16件 【建築物部門】10件 【活動部門】6件

表彰式 開催日 ● 令和7年3月6日
 授与式 ● 建築主又は活動実施者、設計者及び施工者に賞状を授与します。
 また、建築主及び活動実施者に、副賞として表彰銘板（石州数瓦）を贈呈します。

- 《審査委員長》 細田 智久（国立大学法人 島根大学 総合理工学部建築デザイン学科 教授）
- 《審査委員》 金森菜津子（（一社）島根県建築士会 女性委員長） 坂本 拓三（（一社）島根県建築士事務所協会 会長）
 福原 昌代（（一社）島根県建築士会） 持田 明（大田市 参与）

第2次審査対象一覧

●建築物部門

名称	所在地
百日紅の家	出雲市
本とスタジオ	松江市
リフォーム35.7	出雲市
新屋敷	隠岐郡隠岐の島町
Hito_Naka 西町	隠岐郡隠岐の島町
益田広域消防本部 庁舎	益田市
IMAGINE.COFFEE SUNAGODA	出雲市
史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 越堂たたら跡ガイド施設	出雲市
日貴一日 MARIE	邑智郡邑南町
障害福祉施設のありかた/Sakura Campus	安来市
いちえ内科・呼吸器クリニック	松江市
呂咲館	邑智郡邑南町

●活動部門

名称	所在地
歴史を生かし未来をつなぐ ～バリアフリー古民家カフェと音楽交流の新しい形～	出雲市
「SLOW HOUSE@okuizumo」 リノベーションプロジェクト	仁多郡奥出雲町
Katta House	仁多郡奥出雲町
西郷港周辺まちづくり 「うみやまもつとあつまれ」	隠岐郡隠岐の島町
「家具再生大作戦！」 （海士町役場の家具づくりワークショップ）	隠岐郡海士町
しまね環境デザインキャンプ2023 in 安来 [-100年建築×地方商店街-]	安来市
断熱で、島の未来を支えよう！ （既存住宅・断熱化促進への取り組み）	隠岐郡海士町
Glocalspace &	松江市

過去の受賞作品・活動一覧

平成19年度

〈最優秀賞〉

- 松江市雑賀八区町内会救助隊（松江市）

〈優秀賞〉

- しまねの木の家（松江市）
- 安国寺本堂改修工事（松江市）
- 奥谷町東区防災隊の活動（松江市）

〈奨励賞〉

- 古民家改修「囲いの家」
- 附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修
- ポートピア松江ビル（松江市）
- 岩田邸（安来市）
- 松江しんじ湖温泉駅（松江市）
- 災害避難所におけるプライベートスペース
「6家族のためのささやか安心空間」の試作および組立て
マニュアルDVD制作事業

平成20年度

【設計・工事・技術提案部門】

〈奨励賞〉

- JR安来駅 観光交流プラザ（安来市）
- 海士中学校エコ改修（海士町）

【防災活動部門】

〈奨励賞〉

- 「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発
- わが家の耐震改修工事

平成21年度

【技術部門】

〈優秀賞〉

- 菱浦魚集緑地広場整備（菱浦蔵改修工事）（海士町）

〈奨励賞〉

- 美保関橋津屋改修工事（古民家）（松江市）
- K邸（松江市）
- 本妙寺改修工事（出雲市）

【活動部門】

〈特別賞〉

- 地震防災ポスター（島根大学教育学部附属小学校）

平成22年度

【技術部門】（リフォーム工事）

〈優秀賞〉

- 時をつなぐ家（出雲市）

〈奨励賞〉

- 石見瓦再生の家（鹿足郡）
- 古民家劇的大改造（松江市）
- A邸増改築工事（松江市）

【技術部門】（新築工事）

〈奨励賞〉

- 木の香の家（K邸）（浜田市）

【活動部門】（地域防災活動）

〈優秀賞〉

- 防災活動（地震防災訓練）（松江市）

〈奨励賞〉

- 緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練（松江市）
- 岡の目地区防災訓練（松江市）

平成23年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- ワークくわの木江津事業所（江津市）

〈優秀賞〉

- 渡橋の家（出雲市）
- 母里の家（安来市）
- カイダンダンノイエ（松江市）

〈奨励賞〉

- 『家族の健康を守る家』K邸（松江市）
- パティオのある家（出雲市）
- 五箇小学校木造校舎耐震改修（隠岐の島町）
- 石州瓦の家（大田市）
- 「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」（益田市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 入間交流センターを舞台に広がる都市交流活動（雲南市）
- 地元の木材を生かした読書空間づくり活動（海士町）
- 平成23年度法吉地区防災訓練（松江市）
- 街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営（松江市）

平24年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- コクバンの家（松江市）

〈優秀賞〉

- 空に向う家（松江市）
- O邸（雲南市）
- 新しい出発「坂の下café morikame」（出雲市）

〈奨励賞〉

- 先人の技術を受け継ぐ家（安来市）
- 漆喰の家（出雲市）

- 『一畑電車大社前駅』の新しいかたち（出雲市）
- そらうみの家（浜田市）
- 潮騒の住処（益田市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 避難所運営体験の実践（出雲市）

平成25年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 家族が繋がる3世帯住宅（益田市）

〈優秀賞〉

- 古志原の家（松江市）
- 浜田市立中央図書館（浜田市）
- Traditional Style（出雲市）
- 北堀のいえ 民家再生（松江市）
- 見晴らしの家（松江市）
- 段々畑の家（出雲市）
- 食事処 小望月（出雲市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 《訪れる場所作り》佐世だんだん工房（雲南市）
- 大久地区災害対策活動（隠岐の島町）
- 奥出雲町わがとこ再発見ワークショップ（奥出雲町）

平成26年度

【建築物部門】

〈優秀賞〉

- かずと会館（安来市）
- 土間と大黒柱の有る家（益田市）
- のび・のび・のび（安来市）

〈奨励賞〉

- 中庭のあるローコスト住宅（出雲市）
- 求院の家（出雲市）
- ギャラリー記田屋（出雲市）
- ふるさと定住の古民家再生（安来市）
- 奥谷の家（松江市）
- 大田の家（大田市）
- 古民家DIY（松江市）
- 外中原町の2世帯住宅（松江市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- まちなか再生拠点 オープンスペース ichi（出雲市）
- 旧堀氏庭園活用協議会（津和野町）

平成27年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 安来切川の家（安来市）

〈優秀賞〉

- 土縁の家（奥出雲町）
 - 抱陽の家（益田市）
- 〈奨励賞〉
- 海士町立海士小学校（海士町）
 - 凹みの家（松江市）
 - どま・まど・どま（松江市）
 - 滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家（邑南町）
 - 姫原の住宅＋事務所（出雲市）
 - 横浜町の家（松江市）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 平成郷蔵普請（江津市）
- 三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～（雲南市）

平成28年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 善徳寺本堂（雲南市）

〈優秀賞〉

- 稗原の家（出雲市）
- ゆめの森こども園…だいかぞくが集う家（出雲市）

〈奨励賞〉

- 抱陽の家2（益田市）
- 外中原の家（松江市）
- Re：佐白の家（奥出雲町）
- 海士町立福井小学校（海士町）
- 丘の上の家（松江市）
- 灰色の家（出雲市）

平成29年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 広瀬基督教会（安来市）

〈優秀賞〉

- 八川の家/畳カフェ（奥出雲町）
- T様邸個人住宅新築工事（松江市）
- 「城下町」N邸（松江市）

〈奨励賞〉

- 日本赤十字社 益田赤十字病院 院内保育所（益田市）
- 三刀屋の改修（雲南市）

- 蔵 懐古空間 一花（雲南市）
- 松江冷機株式会社 新社屋新築工事（松江市）
- さぎの湯荘 別邸 鷺泉（安来市）
- 家具師の家（出雲市）
- 出雲邸（出雲市）
- 町屋のキッチン（出雲市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 井原を知る勉強会（邑南町）

平成30年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 大橋川河畔の家（松江市）

〈優秀賞〉

- ひゃくどみクリニック（出雲市）
- 古民家オフィスみらいと奥出雲（奥出雲町）

- 赤江の家（安来市）

〈奨励賞〉

- 茅葺き屋根のある家（出雲市）
- 隅木の家（浜田市）
- 大屋根の家（出雲市）
- 帯刀さんの家（出雲市）
- 四姉妹の家（出雲市）
- サクニマス交流センター（吉賀町）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- NPO法人ひらた空き家再生舎（出雲市）
- 矢上駅（出雲市）
- 住民と学生の参加による“隠岐の島町NOGINOVIハウス”改修事業の取り組み

令和元年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 日貫一日 安田邸・一揖（邑南町）

〈優秀賞〉

- 温泉津の住宅（大田市）
- 中庭を持つ静謐な家（益田市）

〈奨励賞〉

- PATISSERIE SUBSTANCE（出雲市）
- LEON building（出雲市）
- 段床のある蔓の家（雲南市）
- 島根県立飯南高校寄宿舎【月根尾寮】（飯南町）
- 松江堀川の家（松江市）
- 宗教法人神慈秀明会 松江出張所（松江市）

- 黒の古民家（安来市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 大学生による美保関古民家改修プロジェクト（松江市）
- 書嘉庵（個人図書室）（松江市）
- 江津駅前ビルのリノベーション（江津市）

令和2年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 光幼保育園（出雲市）

〈優秀賞〉

- 願い離ミュージアム（出雲市）
- 神名火山の古民家（出雲市）
- 日原にぎわい創出拠点「かわべ」（津和野町）
- M-邸（松江市）
- 郡山のレストラン（邑南町）

〈奨励賞〉

- 雲南の方形屋根（雲南市）
- 中庭を囲む平屋（出雲市）
- 高瀬川の家（出雲市）
- RISTORANTE MIA PAESE ～ 私の故郷（浜田市）
- 方杖の家（邑南町）
- 徳應寺納骨堂 無量寿堂（安来市）
- 西ノ島町コミュニティ図書館「いかあ屋」（西ノ島町）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 天神127（松江市）

〈奨励賞〉

- カフェ&ベッド うづい通信部（邑南町）
 - ショッピングリハビリ（ひかりサロン）（雲南市）
 - アートビレッジ構想実現グループ（古典技法絵画研究所・親木遊空倶楽部）（雲南市）
 - コミュニティカフェ Orange（川本町）
- ##### 〈特別賞〉
- 蔵：Re（松江市）

令和3年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 湖畔の家（松江市）

〈優秀賞〉

- 「専光寺」鐘楼門（益田市）
- 株式会社シーエスエー 新社屋新築工事（出雲市）

- 雲南古民家2021（雲南市）
- Entô Annex NEST（海士町）
- 古民家カフェ「茶と糍 梅田屋」（邑南町）

〈奨励賞〉

- Y邸 新築工事（出雲市）
- いわみ温泉「霧の湯」（邑南町）
- 西ノ島町庁舎（西ノ島町）
- なかのや旅館（大田市）
- ひよし保育園（松江市）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド（邑南町）

〈奨励賞〉

- 空き家で人をつなぐ（ヨコバマcoffee、よこばまギャラリー）（松江市）
- 栗寅（大田市）
- どっこい舎（松江市）

〈特別賞〉

- 蔵宿 うずまき（奥出雲町）
- レンタルスペース&キッチン 金吉屋（奥出雲町）
- 禾と恵に咲くお宿 まつ（奥出雲町）

令和4年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 黒のアトリエ（出雲市）

〈優秀賞〉

- 思い出を継ぐ家（出雲市）
- 道の駅 ぞいせ仁摩（大田市）
- 出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿（松江市）
- Ichimura Project/TRATTORIA キツツキ（江津市）
- ホテル一畑（松江市）

〈奨励賞〉

- 緑蔭山荘別邸（松江市）
- 四重奏の屋根（出雲市）
- とうぎ皮フ科クリニック（出雲市）
- 清田の家（雲南市）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 「地域見守りたい!」地・学連携による空き家活用プロジェクト（出雲市）
- enun 縁雲（松江ニューアーバンホテル コワーキングスペース）（松江市）

〈奨励賞〉

- 都野津町街歩きイベント“つぬさんぼ”（江津市）
- 津和野高校 断熱改修ワークショップ（津和野町）
- 子どもの本 つ〜ぼ（安来市）

令和5年度

【建築物・活動部門】

〈最優秀賞〉

- 島根県立大学・島根県立大学短期大学部サテライトキャンパス 石見銀山まちを楽しくするライブラリー（大田市）

【建築物部門】

〈優秀賞〉

- 草房（出雲市）
- 住み続けることの家（仁多郡奥出雲町）
- 少しだけ天井の低い家（出雲市）
- あゆみ保育園（安来市）

〈奨励賞〉

- 殿町のコートハウス（松江市）
- 住宅型有料老人ホーム ほくよう（松江市）
- 株式会社テルミック 島根営業所（松江市）
- 川庭の家（益田市）
- 穂陽の家（益田市）
- 江津市庁舎（江津市）
- 益田市立歴史文化交流館（れぎしーな）（益田市）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 島根大学教育学部附属幼稚園での木育活動と環境整備（松江市）

〈奨励賞〉

- 都野津町古民家コンバージョン ~Yoshi彡yashi~（江津市）
- 4GATSの開業（松江市）

《主催》 島 根 県

《後援》 (一社) 島根県建築住宅施策推進協議会

(一社) 島根県建築士会、(一社) 島根県建築士事務所協会、(一社) 島根県建設業協会、(一社) 島根県建築技術協会、(一社) 島根県住まいづくり協会、
(一社) 島根県建築組合連合会、(一社) 島根県電業協会、(一社) 島根県管工事業協会、(一社) 島根県浄化槽協会、(一社) 島根県木材協会、
石州瓦工業組合、島根県建具協同組合、島根県畳事業協同組合、協同組合建築技術センター、(一財) 島根県建築住宅センター、(公社) 全日本不動産協会島根県本部、
(一社) 日本塗装工業会島根県支部、(公社) 島根県宅地建物取引業協会、島根県瓦工事業組合、島根県東部地区瓦工事業組合

令和 7 年 3 月発行

島根県土木部建築住宅課